

NEWS RELEASE

IoT、M2M システム構築にお役立ち

手軽さと高機能を両立！ FL1F 形スマートリレー新発売

IDEC 株式会社(社長:船木俊之)は、手軽に制御盤や小形制御システムの IoT、M2M 化を実現する最適なスマートリレー「FL1F 形」を 10 月 26 日(月)より新発売いたします。

近年、IoT(Internet of Things)、M2M(Machine to Machine)と表現される「遠隔監視」、「遠隔操作」を実現するコントローラの引き合いが増えています。離れていながら現場の状況をいち早く把握したい要望は、品質管理に厳しいものづくりの現場や在庫管理が必須になる飲食店などのサービス業をはじめ、昨今は、自然災害等による被害を最小限に留めるための予備保全に繋がる用途としての設置も急務となっています。今回発売するスマートリレー「FL1F 形」はプログラムレスの Web サーバー機能に対応しており、「遠隔監視」、「遠隔操作」に加え、「データロギング」を実現し、それらを伴うシステム構築にお役立ちいただけます。



複数のリレー、タイマ、カウンタなどを駆使して構築していたシステムを、手のひらサイズインテリジェントリレー1台に集約可能。IDECのスマートリレーは、きめ細やかなシミュレーションや便利なオンラインモニタなどのデバック時間短縮に貢献し、ユーザーから高い評価を得ていますが、今回発売するFL1F形はプログラミング容量の大型化や3色バックライトによる表示機能の充実、通信機能の拡充などを実現し、アプリケーションがますます広がります。

1)特長

● 見やすい表示

- 3色(白・アンバー・赤)バックライト搭載。エラー発生・警戒などステータスに合わせて表示が可能
- スクロール時、ベースモジュールで最大半角 192 文字、テキストディスプレイでは最大半角 240 文字を表示可能
-

● 豊かな拡張性

- 6種類のI/O増設モジュールで、最大12台(60点)増設可能
- 最大16コネクションが実現できる1:n通信に対応
- Ethernet経由で最大8台のリモートI/O通信可能

- 開発工数削減に貢献

- 全 42 種類のファンクションブロックを用意し、様々なシーンに対応
- UDF(ユーザー定義ファンクション)を搭載し、決まったパターンをブロック化し、繰り返して使用可能
- Ethernet通信で遠隔からプログラミングのアップ/ダウンロードも実施可能
-

- 遠隔監視に対応

- Web サーバー機能を搭載しており、PC やスマホから状態監視が可能

2)用 途

制御盤、小形工作機械、食品加工機械、包装機、農業用制御装置、NON-FA の小型装置など

3)主な仕様

項目		仕様	
内蔵 I/O 点数(DI/DO(AI 共用))		8/4/(4)	
最大増設 I/O 点数(DI/DO/AI/AO)		24/20/8/8	
最大増設 I/O 台数		12 台	
プログラムサイズ(最大 FB 数)		8500 バイト(400 個)	
外部メモリ機能		microSD メモリカード	
メンテナンスサポート		Ethernet(RJ45)	
表示文字数	スクロール無	半角	16 文字×6 行
		全角	8 文字×6 行
	スクロール有	半角	32 文字×6 行
		全角	16 文字×6 行
時計バックアップ期間		20 日	
データバックアップ期間		制限なし(不揮発性メモリ使用)	
時計精度		±2 秒/日	
データロギング機能		512 バイト	
通信性		1:n 通信、リモート I/O 通信	

以上